

教室だより

佐渡市立金井小学校
佐渡ことば・こころの教室
平成19年10月19日
第728号

〒952-1209 佐渡市千種155
: 0259(63)4156(☎) 4115(代) Fax: 4117
<http://www.sado.co.jp/kanaisyo/> E-mail: kanal es@sado.ed.jp



秋の遠足，マラソン大会，そして作品展・文化祭と小学校では行事が続きます。行事は楽しいばかりではなく，子どもによっては苦手なものもあるでしょう。そんな時は，おうちの方の励ましが支えとなります。親子で前向きに乗り切る工夫をしたいものです。

子どもと食事

中央福祉相談センター
佐藤 直樹

児童相談所には，行政処分として子どもを一時的にお預かりする，一時保護所という場所があります。被虐待や非行などの理由で，今も多くの子どもたちが保護されています。

私が一時保護所の職員だったころ，子どもと関わる中で特に印象に残ったことが，食事に関することです。ラーメンにスープが黒くなるほどコショウを入れる，「またしばらく（家で）食べられないから」と言って3人分量を食べるなど，食事の面で著しい偏りがある子どもとの出会いは，私にとって衝撃でした。逆に，きちんと食べて不安や緊張がほぐれた子どもの様子を見て，食事が子どもたちの生活に大きな影響を及ぼしていることを実感しました。

子どもの好き嫌いを早急に正せとは言いませんが，食事が単なる「胃袋を満たす作業」では，子どもの長い人生がとてつまらないものになると思います。野菜でも魚でも，「この食べ物にはこんなおいしさがある」というのを，上手に子どもたちに伝えられると良いのではないのでしょうか。



発達障がいのある子どもたちの 対応を考える

～横山 浩之先生の講演会より～

例題 授業中立ち歩き，他の子どもにちょっかいを出すADHD児への対応は？

これには，親（大人）トレーニングの無視と賞賛の手法が効きます。立ち歩く子どもにはあえて注意をせずに，「全員立って，を音読します。」とクラス全体に短い指示を出します。あえて注意しない点が，「無視」の手法です。みんなが立って読み始めると，子どもは，席へ戻るそうです。ちゃんと見ていて戻ったところをすかさず褒めましょう。ちょっかいへの対応は，されている子に体を向けて，二人の間に立つことです。出している子に背中を向け，注目に値しないことを伝え，学習中の子を見ることで，学習指向の雰囲気を守ることができます。子どもがちょっかをやめ着席したら，褒めましょう。

このように上手に使うと有効な親（大人）トレーニングの手法を取り入れる時の前提条件は，親子で，「あいさつ・返事・靴そろえ」が言われなくてもできることだそうです。発達障がいのある子どもへの対応も，子育ての基本は変わらず重要ということです。（香遠）

子どもの心とことばの育ち

～夏期全国研修会「はじめのいっば 2007」より～

夏季休業中に、「子どもの発達支援を考えるSTの会」代表の中川信子さんの講演をお聞きしました。

子どものことばが遅いと、周囲からは「お母さんのことば掛けが足りないんじゃないの？」と攻められがちです。しかし、本当に大事なものは、ことばを一方的に聞かせることより、一緒に楽しく遊び、コミュニケーションを育てることだそうです。「できる、できない」「早く」「上手に」という尺度で子育てをするのではなく、周囲はその子の育ちをじっくり見守りつつ育てること、S（スピード：早くしなさい）S（生産性：頑張りなさい）K（管理強化：ちゃんとしなさい）K（画一化：みんなと同じにしなさい）は言わない子育てがしたいものです。

こころが育ち、ことばが伸びるには、「ことばのビル」を建てる暮らしが一番です。それは脳の働きに沿った無理のない毎日の暮らしです。その根幹をなす「規則正しい生活」と「体の発達に沿った十分な運動」が情緒の発達を促し、ことばをはぐくむ大きな働きをしているそうです。普段の生活を大切にしなければと自省しました。（山口）



お知らせ



判定委員会の報告

10月10日（水）、金井小学校校長室にて第1回判定委員会が行われ、計20名の入級が認められました。
判定委員の皆様、ご多用の中、ありがとうございました。

親の会コーナー

会員の声 No.25

うちは にぎやか家族 S・Y



夕食が済むと、毎晩四人の子どもたちはおじいちゃん、おばあちゃんと一緒に部屋で過ごします。その賑やかなことといたら…。大声で笑っていたかと思うと、突然追い掛けごっこが始まることもあります。静かにテレビを見ているおじいちゃん、おばあちゃんですが、「テレビの音が聞こえんわ」と嘆く始末です。でも、先日のお月見では、娘とおばあちゃんが作ってくれたぼたもちがあつという間になくなりました。みんなおばあちゃんのぼたもちが大好き。あっけにとられていたおばあちゃんでした。

楽しかった親子ハイキング

9月23日（日）の秋分の日、オートパーク佐和田で親子ハイキングを行いました。ボランティアや職員を含め総勢65名が参加しました。当日は好天に恵まれ、アスレチックや虫採りをしたり、野菜たっぷりのカレーを食べたりして楽しいひとときを過ごしました。

< 保護者の感想 >

今回初めて参加させていただきました。巨大な迷路とアスレチックは日ごろなかなか体験できないので、親子共々興奮しました。

< ボランティアの感想 >

始めは子どもとのかかわり方がよく分からなくてとまどいましたが、子どもたちの方から声を掛けてくれ、仲良くなることができました。また、機会があれば参加したいです。